

令和 4 年度

「運営に関する計画」

大阪市立南恩加島小学校

令和 4 年 4 月

1 学校運営の中期目標

現状と課題

- 本校児童は、「人懐っこい」というよさがあり、進んでいきさつができたり、友だちと楽しく活動できたりする児童が多い。地域の学校に対する支援は、たいへん大きなものがあり、「子どもを地域ぐるみで育む」という温かい雰囲気がある。全体としては大きな荒れはないものの、個々には、落ち着かない児童もみられる。また、家庭状況をみると、支援を要する家庭が少なからずあり、受容的でねばり強い関わりが必要となっている。
- 学校で認知したいじめは、全てにおいて解消できるように取り組んでおり、不登校の児童に対しても、チームで継続した働きかけをしている。学校のきまりを守れるようにする指導も日常的に行ってきました。昨年度の学校アンケートでは、「学校のきまりを守っていますか」について、肯定的な回答をする児童の割合は 87%、「朝食を毎日食べている」では 90% と、前年度よりやや下回った。他にも、遅刻や忘れ物等の課題が残っている。早寝・早起き・朝ごはんを促す「すいみん調べ」や、学校のきまりを意識させる取り組みを今後も継続していく。
- 学力向上は最も大きな課題であり、この間「基礎・基本の定着を図る」ための取り組みを継続してきた。昨年度の学力経年調査では、同一母集団の比較（標準化得点）では、3 学年のうち 2 学年で前年度より向上させることができた。しかし、依然として市平均との差が大きい。特に、正答率が 7 割に満たない児童の割合が依然として大きく、低学力層の底上げが急務となっている。「わかる・楽しい授業」や「個に応じた指導」「言語活動の充実」等について、今後も指導法の更なる工夫や、教員の授業力向上が求められる。
- 体力面では、男子においては、シャトルランを除く 8 種目中 7 種目において大阪市平均を上回り、女子においても、「反復横跳び」「20m シャトルラン」以外は、大阪市平均を上回った。しかし、新型コロナウイルスの影響もあり、運動遊びをよくする児童とそうでない児童との二極化傾向が見られる。

中期目標**【安全・安心な教育の推進】**

- 令和 7 年度の全国学力・学習状況調査の「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 90 % 以上にする。
- 毎年度末の校内調査において、不登校児童の割合を毎年、前年度より減少させる。
- 毎年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を毎年、増加させる。
- 令和 7 年度の全国学力・学習状況調査の「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 85 % 以上にする。
- 毎年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害児童数を前年度より減少させる。
- 令和 7 年度の小学校学力経年調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を 92 % 以上にする。
- 令和 7 年度の学校アンケートの「避難訓練の時には、避難訓練のルールを守っている」の項目について、肯定的に答える児童の割合を 90 % 以上にする。

○令和7年度の小学校学力経年調査の「自分にはよいところがあるとおもいますか」の項目に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を30%以上に増加させる。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 令和7年度の小学校学力経年調査における「学級の友だちとの間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」の項目において、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を35%以上にする。
- 小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント向上させる。
- 令和7年度の小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を55%以上にする。
- 令和7年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を55%以上にする。
- 令和7年度の小学校学力経年調査の平均正答率7割に満たない児童の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も令和3年度より3ポイント減少させる。
- 令和7年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査において、全て大阪市平均を上回らせる。
- 規則正しい生活を身に付けている児童の割合（全国学力・学習状況調査・校内調査の「朝食を食べていますか」、「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」、「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」それぞれに対して肯定的な回答をする割合）を令和7年度調査において85%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- 令和7年度末の校内調査の「日々の学校活動の中で学習者用端末を活用している」の項目について「ほぼ毎日」と回答する児童の割合を90%にする。
- 学校閉序日については、夏季休業期間中は3日以上、夏季休業以外の休業日については1日以上設定する。
- 令和7年度の小学校学力経年調査・校内調査の「読書は好きですか」の項目について、肯定的に答える児童の割合を76.5%以上にする。

2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

【安全・安心な教育の推進】

全市共通目標（小・中学校）

- ・全国学力・学習状況調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を70%以上にする。
- ・年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。
- ・年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。

学校園の年度目標

- 学校アンケートの「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的な「思う」と回答する児童の割合を80%以上にする。
- 年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害児童数を前年度より減少させる。
- 学校アンケートにおける「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を88%以上にする。
- 学校アンケートの「避難訓練の時には、避難訓練のルールを守っている」の項目について、肯定的に答える児童の割合を85%以上にする
- 令和4年度の小学校学力経年調査、学校アンケートの「自分にはよいところがあるとおもいますか」の項目に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を30%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

全市共通目標（小・中学校）

- ・小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を30%以上にする。
- ・小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント向上させる。
- ・小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を50%以上にする。
- ・小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する児童の割合を50%以上にする。

学校園の年度目標

- 令和4年度の小学校学力経年調査の平均正答率7割に満たない児童の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も令和3年度よりより1ポイント減少させる。
- 令和4年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査において、全て大阪市平均を上回らせる。

○規則正しい生活を身に付けている児童の割合（全国学力・学習状況調査・学校アンケートの「朝食を食べていますか」、「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」、「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」それぞれに対して肯定的な回答をする割合）を令和4年度調査において上述すべて項目で85%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

全市共通目標（小・中学校）

- ・令和4年度末の校内調査の「日々の学校活動の中で学習者用端末を活用している」の項目について「ほぼ毎日」と回答する児童の割合を80%にする。
- ・学校閉庁日については、夏季休業期間中は3日以上、夏季休業以外の休業日については1日以上設定する。

学校園の年度目標

- ・令和4年度の小学校学力経年調査・校内調査の「読書は好きですか」の項目について、肯定的に答える児童の割合を前年度より増加させる。

3 本年度の自己評価結果の総括

(様式 2)

大阪市立南恩加島小学校 令和 4 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標 1 安全・安心な教育の推進】</p> <p>全市共通目標（小・学校）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことがありますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 70 % 以上にする。 ・年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。 ・年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。 <p>学校の年度目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学校アンケートの「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 80 % 以上にする。 ○年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害児童数を前年度より減少させる。 ○学校アンケートにおける「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を 88 % 以上にする。 ○学校アンケートの「避難訓練の時には、避難訓練のルールを守っている」の項目について、肯定的に答える児童の割合を 85 % 以上にする ○令和 4 年度の小学校学力経年調査、学校アンケートの「自分にはよいところがあるとおもいますか」の項目に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 30 % 以上にする。 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向 1、安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>年間を通じた人権教育の取り組み、生活指導部会での情報共有や事案への早期対応を通して、いじめについて 100 % 解消に向けて組織的に取り組む。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国学力・学習状況調査、学校アンケートの「いじめは、どんな理由があってもいけないことがありますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合 を 70 % 以上にする。 	
<p>取組内容②【基本的な方向 1、安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>スクールライフノートの「心の天気」や「相談機能」を活用し、保護者と学校、地域が密に連携することで、児童理解に基づいた一人ひとりの心情にあった支援を推進する。</p>	

指標

- ・年度末の校内調査において、不登校児童の割合を前年度より減少させる。
- ・年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。
- ・全国学力・学習状況調査、学校アンケートの「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的な「思う」と回答する児童の割合を80%以上にする。
- ・年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害児童数を前年度より減少させる。

取組内容③【基本的な方向1、安全・安心な教育環境の実現】

「学校のきまり」の内容や指導について、教職員間で意思統一を図ったり、行事運営委員会による「廊下、階段歩こう週間」や「身だしなみ週間」を行ったりすることで、児童が守ろうとする意識を高める。

指標

- ・全国学力・学習状況調査、学校アンケートにおける「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を88%以上にする。

取組内容④【基本的な方向1、安全・安心な教育環境の実現】

学期に一度の避難訓練や防災・減災教育を通じて災害について日常的に自分で考え行動できる児童を育成する。

指標

- ・学校アンケートの「避難訓練の時に、避難訓練のルールを守っている」の項目について、肯定的に答える児童の割合を85%以上にする。

取組内容⑤【基本的な方向2、豊かな心の育成】

キャリアパスポートの取り組みを活用し、自分自身の成長を実感したり、道徳科の授業を通じて自他について考えたりすることを通じて、自分や友だちを大切にする心情を育てる。

指標

- ・全国学力・学習状況調査・学校アンケートにおける「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について、最も肯定的に回答する児童の割合を30%以上にする。

取組内容⑥【基本的な方向2、豊かな心の育成】

行事運営委員会による「あいさつ週間」や朝の看護当番によるあいさつの促進等で、あいさつの大切さを実感できるようにし、地域の人や友だちへ進んであいさつできるようになる。

- ・学校アンケートにおける「進んであいさつしている」に対して肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点

(様式 2)

大阪市立南恩加島小学校 令和 4 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標 2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <p>全市共通目標（小学校）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 30 %以上にする。 ・小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 1 ポイント向上させる。 ・小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 50 %以上にする。 ・小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する児童の割合を 50 %以上にする。 <p>学校の年度目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ○令和 4 年度の小学校学力経年調査の平均正答率 7 割に満たない児童の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も令和 3 年度より 1 ポイント減少させる。 ○令和 4 年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査において、全て大阪市平均を上回らせる。 ○規則正しい生活を身に付けている児童の割合（全国学力・学習状況調査・学校アンケートの「朝食を食べていますか」、「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」、「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」それぞれに対して肯定的な回答をする割合）を令和 4 年度調査において上述すべて項目で 85 %以上にする。 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向 4、誰ひとり取り残さない学力の向上】</p> <p>対話的学習活動を活発にし、伝え合い、学びあう力を育てる。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校学力経年調査、学校アンケートにおける「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、肯定的な回答をする児童の割合を、60 %以上にする。 	
<p>取組内容②【基本的な方向 4、誰ひとり取り残さない学力の向上】</p> <p>子どもが生き生きと興味をもって取り組めるよう、教材・教具・ICT の工夫、体験活動の充実など、指導法の工夫・改善を図り児童の学力の向上を図る。</p>	

<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント増加させる。 ・国語科・算数科の単元テストの正答率を75%以上にする。 	
<p>取組内容③【基本的な方向4、誰ひとり取り残さない学力の向上】 楽しく外国語（英語）に親しむ児童を育てるため、指導法を工夫し教育の充実と推進を図る。</p>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校アンケートにおいて「外国語（英語）の授業が楽しい」と肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする 	
<p>取組内容④【基本的な方向番号5、健やかな体の育成】 体育科の指導を工夫するとともに、休み時間に運動場に出て遊び、学校生活全体を通して体力の向上を図る。</p>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校アンケートにおいて「運動（そとあそび）をよくしている」と肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。 ・令和4年度の小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を70%以上にする。 	
<p>取組内容⑤【基本的な方向4、誰ひとり取り残さない学力の向上】 個に応じたきめ細かな指導を行ったり、繰り返し学習したりすることで、基礎・基本的な学習内容を定着させる。</p>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度の小学校学力経年調査の平均正答率7割に満たない児童の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も令和3年度よりより1ポイント減少させる。 	
<p>取組内容⑥【基本的な方向5、健やかな体の育成】 体育科の指導を工夫することで、児童の基礎体力の向上を図る。</p>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度の全国体力・運動能力、週間調査において、全ての項目で大阪市平均を上回らせる。 	
<p>取組内容⑦【基本的な方向番号5、健やかな体の育成】 「体育科保健領域」「特別活動における保健に関する指導」等を通して、健康的な生活習慣の定着を図る。</p>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的生活習慣の定着化をめざして睡眠時間を確保するよう啓発・指導し、校内調査「早寝・早起きをしている」の項目で肯定的な回答する児童の割合を85%以上にする。 ・小学校学力経年調査、学校アンケートにおける「朝食を毎日食べている」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。 	
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	

次年度への改善点

(様式 2)

大阪市立南恩加島小学校 令和 4 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標 3 学びを支える教育環境の充実】</p> <p>全市共通目標（小学校）</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和 4 年度末の校内調査の「日々の学校活動の中で学習者用端末を活用している」の項目について「ほぼ毎日」と回答する児童の割合を 80% にする。 学校閉序日については、夏季休業期間中は 3 日以上、夏季休業以外の休業日については 1 日以上設定する。 <p>学校の年度目標</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和 4 年度の小学校学力経年調査・校内調査の「読書は好きですか」の項目について、肯定的に答える児童の割合を前年度より増加させる。 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向 6、教育 DX の推進】 ICT 機器の活用を中心に児童に ICT 技能を身に付けさせるとともに、活用できる児童の育成を図る。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和 4 年度末の校内調査の「日々の学校生活の中で学習者用端末を活用している」の項目について、「ほぼ毎日」と回答する児童の割合を 80 % にする。 	
<p>取組内容②【基本的な方向 7、人材の確保・育成としなやかな組織づくり】 教職員の働き方改革に関して勤務時間の最適化を図る。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校閉序日については、夏季休業期間中は 3 日以上、夏季休業以外の休業日については 1 日以上設定する。 	
<p>取組内容③【基本的な方向 8、生涯学習の支援】 本に親しむ機会や場（読書タイム、図書室利用、調べ学習等）を設定することで、本に親しみ、楽しんで読書をする児童を育てる。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校アンケートにおける「本を読むのが好き」に対して肯定的に回答する児童の割合を 75 % 以上にする。 令和 4 年度の小学校学力経年調査・校内調査の「学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）1 日当たりどれくらいの時間、読書をしますか」の項目について、「全くしない」と回答する児童の割合を令和 3 年度より 5 ポイント減少させる。 	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点